



ジャパンケーブルキャスト株式会社

ジャパンケーブルキャストが 公共情報コモンズ®の情報を「JC-data」で配信開始!

ジャパンケーブルキャスト株式会社(以下、ケーブルキャスト、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中慶彦)は、ケーブルテレビ局向けデータ放送サービス「JCーdata」(ジェイシー・データ)を利用し、公共情報コモンズの情報配信を 2013 年 7 月 25 日より開始しました。

ケーブルキャストは、公共情報コモンズ運営主体「一般財団法人マルチメディア振興センター」の協力事業者制度の創設に伴い、2013 年 7 月 8 日に協力事業者第 1 号として登録されております。

データ放送サービス「JC-data」は、地域の「安心安全・防犯防災」情報の提供に注力して参りました。これまでも、ケーブルテレビ局データ放送を通して、気象警報・注意報、震度速報、河川氾濫、津波情報や警察署からの不審者情報、消防署からの火災情報、防災カメラなどとの自動連携を行っております。

今回、公共情報コモンズの協力事業者となったことで、これまで以上に、各種情報を配信することが可能になりました。

事例としては、宮城県気仙沼市より公共情報コモンズへ避難勧告、避難所情報、災害情報等が配信され、サーバーに登録された各種情報を、同サーバーと SOAP 接続した JC-data システムが受信し、気仙沼ケーブルネットワーク(本社:宮城県気仙沼市、代表取締役社長:佐藤亮輔)が配信するコミチャンデータ放送へ情報提供を行っております。

JC-data はASP型でのサービス提供を行っているため、今後、JC-dataを利用しているケーブルテレビ局はシステムへの追加投資をすることなく、公共情報コモンズの情報配信が可能になります。自治体が市民に伝えたい防災情報をケーブルテレビ局データ放送経由で、迅速かつ確実に伝えて参ります。

■ 【参考:2013年7月26日の配信結果】





(本件に関するお問い合わせ先) ジャパンケーブルキャスト株式会社 JC-data 企画開発部 電話 03-6910-2906 URL: http://www.cablecast.co.jp